

仕事で結ぶ



株式会社日本ピーエス
東日本本部 東北支店 技術グループ

佐々木 哲平

はじめに

私が土木の道を志したのは、祖父の影響です。祖父は土木工事現場で作業員として長い間勤め、私の就職と同時に引退しました。幼い頃に祖父の従事していた工事現場へ連れて行ってもらったのが土木業界との出会いであり、今日の私がある理由です。工事現場は平凡な日常とは異なり、日々、大きなことを成している場所であると幼いながらに感じ、その時の興奮とそこで働く人達の格好良さを感じた記憶が今も残っています。それから月日が経ち、プレストレストコンクリートと出会い、私は橋屋になりました。

地元（秋田）について

現場の移動でさまざまな土地へ行きますが、自然豊かな地元に帰って

くるたびに地元の良さを再認識しています。春は千秋公園の桜、夏は竿灯まつり、秋は大曲花火大会、冬は横手のかまくら等、四季折々の風情が楽しめます。また、きりたんぼ鍋や横手焼きそば等のご当地グルメもあります。ぜひ一度、足を運んでみてください。

仕事場

私は現在、秋田自動車道4車線化の工事に携わっています。一工事の中に3橋あり、私は5径間連続箱桁橋（うち2・5径間）を担当しています。本橋は片持架設工法で行い、たわみ量を計算し現場での高さ管理において反映します。本現場で、自ら計算を行った結果を基に現場での施工管理を行います。とても、貴重な経験をさせていただいています。

地元での工事です。微力ながら、生まれ育った場所に仕事を通して貢献できることは心からの喜びであり、この仕事ならではの魅力だと思えます。また、本工事を私自身、道路を利用する一市民として待ち望んでいました。欲しいと思っていた道路を自分で施工できることも、この仕事ならではの魅力だと感じますし、幸いです。

この先まだまだ工事は続いていきます。無事故無災害と、より良いものを作る意識を欠かさず、工事完了まで、日々業務に取り組んで参ります。

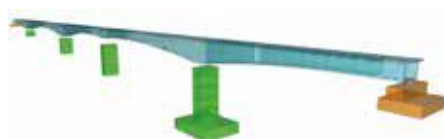
学生の皆さまへ

私の働く土木建設業界は、たくさんの方が詰まった業界です。仕事を通して全国各地・地元へ貢献できます。まさに今の私がそうです。また、自分が手掛けた構造物は遠い未来まで、人々の暮らしを支え続け豊かにします。自分が生きた証を人の暮らしと共に残していけます。興味を持っていただき、一緒に働くことができますたら嬉しいです。ぜひ、一緒に働きましょう。

これから

現在携わっている工事において、より良いものを作るため、無事故無災害で完工するために日々精進し業務に取り組んで参ります。完成した際の感動を楽しみに毎日を過ごして参ります。

これからも、業界の魅力を感じながら業務に取り組むと共に、この魅力を発信し続け業界を盛り上げたいと思います。



▲ 橋梁の高さ管理をするための上げ越し計算用モデル



▲ 施工中の現場で測量している様子



▲ 千秋公園の桜

#006 仕事場拝見

さまざまな
経験を通じてピーエス・コンストラクション株式会社
九州支店 建築工務部まえ だ とも か
前田 智香

はじめに

私自身が元々建築に興味があったため、工業高等専門学校に進学し、建築学科を専攻しました。在学中には、この会社でインターンシップを10日間経験させていただく機会に恵まれました。当時はPC技術のことをあまり知らなかったのですが、研修や現場見学などを通じて、スタジアムや学校といったさまざまな建築物でPC技術が採用されていることを知り、PC技術に携わりたいと思うようになりました。インターンシップで会社の業務内容や雰囲気を知ることができたこともあり、ここで働きたいと思い入社しました。

設計部での業務

最初に配属されたのは建築設計部で、工場がプレキャスト部材を製作するために必要な製作図の作成、断面検討や計画図の作成などの業務を行っ

ていました。

主に製作図の作成業務を行っており、設計図や施工図を基に、部材の形状配筋や納まり検討、問題点の抽出などの作業をしました。最初はどの情報をもどのように表現すれば、他の方からみてもわかりやすい図面になるのかが分からず、図面に表現することの難しさを実感しました。ですが、先輩方のご指導や過去物件を参考に、試行錯誤しながら物件を積み重ねるうちに、自分自身でいろいろなことを考えながら作業することができるようになりました。

実際に出来上がった建築物を見に行く、製作された部材が組み合わさることで建築物が出来上がっている図面上でイメージするのは違う壮観さを感じ、関わることで良くなったなと思い、日々の設計業務に励んでいました。

初めての現場

そんな中、現場を経験するために建築工事部へ異動となり、初めて現場に携わることになりました。その現場では、ST版やPC柱、PC階段といったプレキャスト部材の架設工事とPC鋼棒の緊張工事の施工管理として、日々の品質管理や、資材の発注管理、元請・他業種との工程調整といった業務を行いました。

部材の架設作業だけでも、墨出しや資材発注などの様々な段取りがあり、また一緒に従事している職人さんに現場でのことなど教えていただき、設計部のときは知らなかったことを知る機会が多く、とても勉強になりました。

特に驚いたのはPC階段で、階段1段を1ピースずつ製作し、PC鋼棒により圧着接合しました。PC技術によつて、意匠性の高い部材ができることに改めて凄さを感じ、そのような特殊部材の施工もできて、良い経験になったと思います。

ひとつの現場を通して、建築物が出来ていく過程を見ることができて、多くのことを学ばせていただく機会があり、成長に繋がりました。

現在は…

その後、いくつかの現場の工事を担当したあと、建築工務部へと異動となりました。建築工務部では工事が始まる前段階での、部材のボリュームや材料の積算、工程・重機検討などの業務を行っています。

まだ異動して日が浅いですが、これまでの経験を活かして業務に取り組み、多角的な視点で物事を考えられるようになりたいです。今後さまざまな物件に携わる中で、もっと知識を吸収し、成長していきたいです。



▲ 架設後(内装作業中)



▲ PC 階段の組立状況



▲ ST版の架設状況

会社の一員として



株式会社安部日鋼工業
総務部 情報システム課

いしぐれ ゆうか
石樽 有花

職場選択

高校時代、就職先を探す上で事務系の職場で探していましたが、進路担当の先生に勧められたのが求人票に「IT事務」と記載されていた安部日鋼工業でした。在学中、システム系の学科ではなかったため、私にできるのかと不安でした。しかし、同高校の先輩社員の受験レポートや実際に会社訪問をすることでこの会社で働いてみたいと思うようになり、受験することを決め、無事に内定をいただけました。

私が入社したのは2020年4月でちょうど新型コロナウイルスの影響を受けていた時期でした。入社したばかりでしたが、在宅勤務をすることもありました。正直、在宅勤務では自分で判断してできる仕事が少なかったため、早く仕事に慣れないと、という焦りばかりで本当に自分はこの会社で役に立てるのだろうかと思

むこともありました。しかし、部署の方々は丁寧にわかりやすく仕事を教えてくださって、分からないことだらけだったシステムの仕事もさまざまな業務に携わらせていただく中で、新しい知識を得ることの楽しさを感じることができました。

情報システム課の仕事

現在、パソコン等の不具合対応やホームページの更新、経理業務を担当しています。

不具合等の問い合わせは電話対応がほとんどです。

全国各地で暑い日も寒い日も屋外で仕事をしている現場社員の方をはじめ、営業・設計・事務など、会社ではさまざまな職種が働いています。どの業務にも支障がないよう、日頃から迅速かつ丁寧に対応できるよう心がけています。まだまだ知識・技術ともに至らない点があり先輩方に助けていただいているのですが、少しずつでも自分で対応できる業務を増やしていけるよう努力していきたいと思っています。

資格取得・休日の充実

入社してすぐに建設業経理士2級の資格を取得しました。まだ勉強する習慣があるうちだと思います。

ぐの9月に受験し、合格することができました。現在は新たな資格取得に向けて勉強中です。忙しい時期はありますが、定時で帰宅できることが多いため平日でも勉強の時間を確保できています。この職場環境に感謝し、合格できるよう頑張ります。

また、土日祝等のお休みもしっかりあるため、気持ちにも余裕ができ、今は小学生の頃から続けていて、高校卒業と同時に辞めていたソフトテニスを地元のチームでプレーしています。毎週日曜日にテニスで体を動かし、リフレッシュすることで、ワークライフバランスが充実していることを実感しています。

最後に

システムの知識も興味もなかった私が5年間で多くのことを学びました。さまざまな部署の方とお話をし、問題を解決したり、何百台ものパソコンの設定や修理をしたりしました。初めはできないことでも、何度も繰り返し行うことで少しずつできることが増えていき、自信に繋がりました。これからももっと成長していけるよう、この恵まれた職場環境に感謝しながら頑張っていきたいです。そしていつかは、上司・先輩方のように多くの方に頼られる存在となれるよう精進してまいります。



▲ ソフトテニスの様子



▲ 自席での仕事の様子



▲ パソコン不具合対応中